



まかべどうむじゃ。
よろしくのう。



文化財課のキャラクター
「まかべどうむ」

もありません。

■ **性格** / 感謝の気持ちを言葉にして、家来のことを気遣う優しい城主ですが、物怖じせず怒らせたら怖いという一面

■ **好物** / 福来みかん

■ **特技1** / 連歌

■ **特技2** / 剣術

※塚原ト伝の弟子で霞神道流と称し、直径8cm、長さ3mの金棒を戦場で振り回したとされています。

■ **趣味** / 茶の湯(茶道)、鷹狩

■ **身長** / 155cm

■ **体重** / 65kg

■ **興味** / 茶の湯(茶道)、鷹狩

■ **家族** / 父(家幹)、子(氏幹、義幹)

■ **年齢** / 大永2年(1522年)生まれの60歳

■ **本名** / 真壁久幹

■ **まかべどうむのプロフィール**

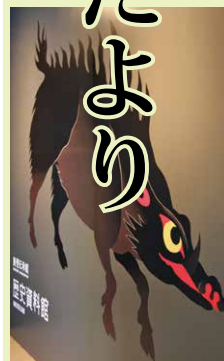


まかべ城のお殿様
「まかべどうむ」誕生



歴

史資料館だより



No.90
教育委員会文化財課
文化財グループ
(☎58-5111・75-3111代表)

こんな逸話も

久幹は、家来が戦で大けがを負ってしまった時「痛み止め、刀傷に効く白薬、高熱が続いているため熱冷ましの手配をお願いします。また、口にするのを控えた方が良いでしょう、傷口を洗うもの、自分でできることなど教えてください」と医療に長けた人物へ手紙を送ったという逸話が残っています。

この逸話から、久幹が家来を細やかに気遣う人物であったということが分かります。

次回も楽しみじゃ。
それまで気長に待とうかのう。



次の絵は、県指定文化財の「紙本著色 伝真壁道無像」です。オレンジ色の丸紋の小袖に紺色の羽織、茶色の足袋を履いたお洒落な格好をした高齢の男性が描かれています。この絵は、様々な特徴から江戸時代前期に描かれたものだと考えられており、描かれている人物は久幹ではないかと言われています。

まかべどうむは、この絵をもとに作られました。

まかべどうむのモデルは
約400年前の肖像画

まかべどうむの
詳細はコチラ



土曜・祝日も営業



通所介護(短時間・1日) 専門職リハビリテーション
居宅介護支援(ケアマネージャー)

リハビリハート総合介護ケアセンター

理学療法士 本橋寛樹

介護のご相談・リハビリ見学体験ご送迎も可能

0296-73-6965

桜川市西桜川2-18-5(50号沿い)

国道50号マクドナルドさん南側 茨城トヨタさんとなり